



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社加地テック 上場取引所 大  
 コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 士郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 新井 光司 TEL (072) 361-0881  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,227	3.9	49	△57.9	61	△49.3	34	△50.1
22年3月期第1四半期	1,181	△13.4	116	△1.8	120	△12.6	68	△14.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	2	02	—	—
22年3月期第1四半期	4	04	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	7,437		4,999		67.2	295	34	
22年3月期	7,388		5,023		68.0	296	79	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 4,999百万円 22年3月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
22年3月期	—	—	—	4 00	4 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	6 00	6 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,500	10.1	75	△32.8	75	△36.9	45	△33.2	2	66
通期	5,500	△10.7	350	△42.2	350	△42.6	200	△7.5	11	81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	17,180,000株	22年3月期	17,180,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	252,975株	22年3月期	252,765株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	16,927,091株	22年3月期1Q	16,929,630株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況の表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における日本経済は、在庫調整の進展や海外経済の回復を背景とした輸出、生産の増加などからゆるやかに回復への基盤が整いつつありますが、雇用情勢は、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあります。こうした中、企業収益は輸出の増加やコスト削減効果により着実に改善しており、設備投資においても、企業の業績改善ならびに設備稼働率の上昇もあり持ち直しの動きがでております。

このような状況の中、当社の当第1四半期会計期間の売上高は、ペットボトルブロー成形用圧縮機、六フツ化硫黄ガスの回収用圧縮機等の売上が伸びたこともあり前年同四半期比3.9%増の1,227百万円となりました。売上総利益は、売上高の微増があったものの、高採算案件の減少により、前年同四半期比21.7%減の275百万円となり、営業利益は、前年同四半期比57.9%減の49百万円となりました。経常利益・税引前四半期純利益はそれぞれ前年同四半期比49.3%減の61百万円となり、当第1四半期純利益は前年同四半期比50.1%減の34百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は7,437百万円で前事業年度末に比べ48百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の減少863百万円があったものの、現金及び預金の増加253百万円、受取手形の増加53百万円及び預け金の増加600百万円があったことによります。

当第1四半期会計期間末の負債は2,437百万円で前事業年度末に比べ73百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の減少68百万円があったものの、支払手形の増加136百万円があったことによります。

当第1四半期会計期間末の純資産は4,999百万円で前事業年度末に比べ24百万円減少しました。この主な要因は、四半期純利益が34百万円あったものの、配当金の支払い67百万円があったことによります。

以上の結果、自己資本比率は67.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、2,480百万円で、前事業年度末に比べ853百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は945百万円であります(前年同期比1,665百万円増加)。この増加は主に、税引前四半期純利益61百万円、売上債権の減少額777百万円及び仕入債務の増加額56百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は14百万円であります(前年同期比483百万円減少)。この減少は主に有形固定資産の取得による支出14百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は77百万円であります(前年同期比60百万円増加)。この減少は主に配当金の支払い62百万円によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績見通しにつきましては、平成22年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ①棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額を計上する方法等によっております。

##### ④繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

##### ①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による影響はありません。

#### 2. 四半期損益計算書の表示方法の変更

前第1四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金戻入額」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第1四半期累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「貸倒引当金戻入額」は800千円であります。

また、前第1四半期累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「固定資産除却損」は15千円であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	680,972	427,303
受取手形	413,858	360,202
売掛金	1,251,597	2,115,219
製品	62,198	58,136
仕掛品	1,391,779	1,408,201
原材料及び貯蔵品	302,960	287,968
預け金	1,800,000	1,200,000
その他	281,023	279,038
貸倒引当金	△33,100	△43,000
流動資産合計	6,151,291	6,093,070
固定資産		
有形固定資産	833,729	846,872
無形固定資産	12,683	13,283
投資その他の資産		
その他	557,555	553,407
貸倒引当金	△118,080	△118,080
投資その他の資産合計	439,474	435,326
固定資産合計	1,285,887	1,295,482
資産合計	7,437,178	7,388,552
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	779,848	643,774
買掛金	212,227	280,778
短期借入金	197,500	205,000
未払法人税等	30,257	—
賞与引当金	73,783	146,198
受注損失引当金	30,030	34,800
その他	556,336	492,967
流動負債合計	1,879,983	1,803,517
固定負債		
退職給付引当金	466,939	457,448
役員退職慰労引当金	38,734	44,027
その他	52,297	59,675
固定負債合計	557,972	561,150
負債合計	2,437,956	2,364,668

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,372,756	2,406,337
自己株式	△42,432	△42,393
株主資本合計	4,973,333	5,006,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,396	18,631
繰延ヘッジ損益	2,492	△1,699
評価・換算差額等合計	25,889	16,932
純資産合計	4,999,222	5,023,884
負債純資産合計	7,437,178	7,388,552



## (2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,181,028	1,227,036
売上原価	828,615	951,176
売上総利益	352,412	275,860
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	63,308	73,907
賞与引当金繰入額	12,204	17,198
役員退職慰労引当金繰入額	7,034	3,287
その他の販売費及び一般管理費	153,225	132,328
販売費及び一般管理費合計	235,773	226,721
営業利益	116,638	49,138
営業外収益		
受取利息	2,159	2,169
貸倒引当金戻入額	—	9,900
その他	3,499	1,968
営業外収益合計	5,659	14,037
営業外費用		
支払利息	1,187	1,259
固定資産除却損	—	565
その他	160	23
営業外費用合計	1,348	1,847
経常利益	120,949	61,328
税引前四半期純利益	120,949	61,328
法人税等	52,500	27,200
四半期純利益	68,449	34,128

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	120,949	61,328
減価償却費	20,291	19,651
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,096	9,491
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,034	△5,292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△800	△9,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△116,520	△72,414
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,400	△4,770
受取利息及び受取配当金	△2,547	△2,484
有価証券利息	△1,117	△600
支払利息	1,187	1,259
固定資産除却損	15	565
売上債権の増減額(△は増加)	269,883	777,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	△299,800	△2,631
その他の流動資産の増減額(△は増加)	51,244	1,297
仕入債務の増減額(△は減少)	△516,067	56,544
その他	101,057	116,020
小計	△344,493	945,925
利息及び配当金の受取額	2,774	1,288
有価証券利息の受取額	3,954	1,200
利息の支払額	△1,177	△1,249
法人税等の支払額	△380,557	△1,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△719,499	945,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31,324	△14,806
有価証券の償還による収入	500,000	—
その他の収入	80	390
その他の支出	△69	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	468,686	△14,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
長期借入金の返済による支出	△2,500	△2,500
リース債務の返済による支出	△4,071	△5,145
自己株式の取得による支出	△45	△38
配当金の支払額	△124,239	△62,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,356	△77,587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△389,169	853,669
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,446	1,627,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,021,277	2,480,972

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
圧縮機事業	1,097,773	—
繊維機械事業	30,551	—
合計	1,128,324	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
圧縮機事業	976,452	—	1,494,744	—
繊維機械事業	16,714	—	31,478	—
合計	993,166	—	1,526,223	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
圧縮機事業	1,205,594	—
繊維機械事業	21,441	—
合計	1,227,036	—

- (注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び輸出販売高の総額に対する割合は次のとおりであります。  
( )内の数値は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第1四半期会計期間		当第1四半期会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東アジア	106,354	57.7	105,045	54.9
南アメリカ	47	0.0	42,169	22.0
中近東他	77,968	42.3	44,285	23.1
計	184,369 (15.6%)	100.0	191,500 (15.6%)	100.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。